

庭園学講座 27

文化財庭園の整備と考古学

—庭園考古学へのいざない—

【文化財庭園の整備における考古学との関係性を考える】

文化財庭園は長年風雨にさらわれ、毀損にともない修理や整備が重ねられてきました。文化財庭園の保存修復、技術は近年、大きく発展してきています。

文化財庭園の整備において発掘という考古学的手法が取り入れられたのは、1960年代からであり、岩手県平泉地域の庭園群などがその例であります。以降、福井県の一乗谷朝倉氏館跡、奈良県の平城宮左京三条二坊宮跡庭園など埋没していた庭園なども次々に発掘され、その姿を現してきました。

初期の整備はまだ多様な試みがなされながら、その庭園美の再生に向けた時期でしたが、次第に現在見るような庭園学と考古学との共同による整備へと成熟してきました。まさに庭園考古学ともいえる、新たな分野が成立してきた過程でありました。

整備を行っても、年月を経れば毀損し、修理や整備が必要となります。文化財庭園の整備の間隔は、おおよそ2,30年が目処とされます。初期の考古学的手法が取り入れられた調査、整備から、4,50年を経た現在、文化財庭園は再整備の時期にきています。

本講座では、文化財庭園の整備はいかに行われてきたか、当に考古学的手法による整備の変遷を中心に、文化財庭園整備の最新の現状を確認したい。

【講師】

尼崎博正
(京都造形芸術大学教授 / 日本庭園・歴史遺産研究センター名誉所長)

仲 隆裕
(京都造形芸術大学教授 / 日本庭園・歴史遺産研究センター所長)

杉本 宏
(京都造形芸術大学教授 / 日本庭園・歴史遺産研究センター日本庭園研究部門長)

【招聘講師】

大澤伸啓 (史蹟足利学校)

佐藤道文 (大分市文化財課)

島原弘征 (平泉文化遺産センター)

吹田直子 (京都府文化財保護課)

鈴木久男 (京都産業大学名誉教授)

南孝雄 (財団法人京都市埋蔵文化財研究所)

吉崎伸 (財団法人京都市埋蔵文化財研究所)

吉村龍二 (環境事業計画研究所所長)

=お申込みはコチラ=

申込は Web のみ。

京都芸術大学 HP 内

『藝術学舎公開講座 79 選』

講座番号 G2043579

<https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/>



【開催地】

京都芸術大学瓜生山キャンパス、または Web オンライン[※]

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、完全遠隔 (Web オンライン) で行う可能性があります。

詳しくは裏面をご参照ください。

【受講料】

15,000 円 (テキスト代別途 3,000 円)

【定員】

80 名 (先着順受付・最小催行人数 20 名)

3月20日（土）文化財庭園の整備と考古学

文化財庭園の整備はどのように行われてきたか、また庭園と考古学はどのような関係にあるか、庭園と考古学、それぞれの専門分野から考えます。

- 09:30 - 10:00 受付
- 10:00 - 10:15 開会式及びインフォメーション
- 10:15 - 11:15 総論「文化財庭園の整備はいかに行われてきたか」（仲隆裕）
- 11:30 - 12:30 講義「庭園と考古学」（杉本宏）
- 12:30 - 14:00 昼休憩
- 14:00 - 15:00 講義「京都における文化財庭園発掘」（鈴木久男）
- 15:15 - 16:45 講義「京都における近年の庭園発掘調査と庭園修理」（吉崎伸・南孝雄）

3月21日（日）シンポジウム—文化財庭園整備の最前線—

全国で行われている文化財庭園の整備事例の紹介をするとともに、シンポジウム形式で文化財庭園の整備における最前線の課題を討論します。

- 08:30 - 09:00 受付・インフォメーション
- 09:00 - 10:00 基調講演 尼崎博正「文化財庭園の整備から学ぶ」
- 10:00 - 10:55 事例紹介①「平泉の浄土庭園群の調査と整備」（島原弘征）
- 11:00 - 11:45 事例紹介②「関東の浄土庭園の調査と整備」（大澤伸啓）
- 11:50 - 12:50 昼休憩
- 12:50 - 13:35 事例紹介③「醍醐寺三宝院庭園」（吉村龍二）
- 13:40 - 14:25 事例紹介④「浄瑠璃寺庭園」（吹田直子）
- 14:30 - 15:15 事例紹介⑤「大友氏館跡庭園」（佐藤道文）
- 15:30 - 16:30 ディスカッション
コーディネーター：仲隆裕・杉本宏
パネリスト：尼崎博正・大澤伸啓・佐藤道文・島原弘征・吹田直子・鈴木久男・吉村龍二
- 16:30 - 17:00 修了式

=Web（オンライン）について=

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、完全遠隔（Web オンライン）で行う可能性があります。

この場合も授業の基本的な内容に変更はなく、開講形態の変更に伴う受講料の返金はありません。

遠隔開講となる場合、オンライン会議アプリ Zoom(ズーム) を利用します。Zoomの基本的な操作が必要となりますことを予めご了承下さい。

【京都芸術大学 アクセス】

◆JR「京都駅」より

市バス5系統/岩倉行「上終町京都造形芸術大学前」下車

◆京阪「出町柳駅」より

市バス上終町3系統/上終町京都造形芸術大学前行「上終町京都造形芸術大学前」下車
叡山電車（京阪出町柳駅乗換）茶屋駅下車、徒歩約10分

◆阪急「河原町駅」より

市バス5系統/岩倉行「上終町京都造形芸術大学前」下車
市バス上終町3系統/上終町京都造形芸術大学前行「上終町京都造形芸術大学前」下車

=お問合せ=

Tel : 075-791-9124

e-mail : gakusha@office.kyoto-art.ac.jp

受付時間

10:00 ~ 16:00 (月~土、日・祝休)